

峯田敏郎の彫刻

この作品は峯田敏郎(ミネタシロウ 1939～)が制作した「記念撮影-北防波堤-」という彫刻です。峯田敏郎は、1939年山形生まれ、1977年に本学の助教授、教授を務め(1977-1986)、1995年には紺綬褒章を受章した彫刻家です。また、1989年には天王町(現在の潟上市)に峯田敏郎彫刻美術館が設立されました。



ニュートンゆかりのリンゴ



桜や松に囲まれて佇むこのリンゴの木は、ニュートンが万有引力を発見したリンゴの木の接ぎ木で「フラワー・オブ・ケント」といいます。1964年頃に英国国立物理学研究所から日本学士院長に苗木が送られてきたのが最初といわれています。それから、秋田県果樹試験場で接ぎ木され、のちに秋田大学に植林されたニュートンゆかりのリンゴの木です。

カラタチ



東門のそばの一般教育棟1号館の目の前に11本のカラタチの木が立っています。カラタチはミカン科の落葉低木で、枝に大きなトゲがあることから生垣として植えられることが多い樹木です。本学の正門から東門に抜ける道路はかつて公道であり、その道路の生垣としてカラタチが植えられたという経緯があります。

平田篤胤のお墓



東門から鉱業博物館に向かってほどなくのところ、たくさんの緑に囲まれて平田篤胤のお墓があります。平田篤胤(ヒラタアツタネ 1776-1843)は、秋田出身の江戸時代後期の国学者で、国学四大人として最も有名な国学者となり、日本の神道界・国学界に多大な影響を与えたといわれています。

秋田大学周辺マップ



アクセス方法

- 秋田駅より …… 徒歩 15分
秋田駅東口より
- 秋田駅より …… バス 10分
秋田中央交通 秋田駅西口⑩番のりば
「手形山経由大学病院線」→「秋田大学前」下車
- 秋田中央ICより …… 車で 10分



〒010-8502 秋田市手形学園町1番1号
URL <http://www.akita-u.ac.jp/>

編集: 秋田大学地域創生課
TEL 018-889-2270 FAX 018-889-3162
E-mail: shakoken@jimu.akita-u.ac.jp

〈第7版〉
平成26年5月

AKITA UNIVERSITY

秋田大学

TEGATA CAMPUS

キャンパス ガイドマップ

名所、史跡、季節の花々etc...
手形キャンパス
見どころアレもコレも。

秘密の
言葉ラリー
に挑戦!!



イルミネーション



毎年12月から1月にかけて、約4万個のLED電球を使い、正門から左右に伸びる300mの柵や正門広場の藤棚を明るく華やかに飾ります。夜の学生街を生き生きとした魅力的な場に変え、地域の皆様にも親しみを持っていただくため、平成20年から毎年行っています。

AKITA UNIVERSITY CAMPUS GUIDE MAP

URL <http://www.akita-u.ac.jp/>

インフォメーションセンター

成田為三

現在の秋田大学教育文化学部の前身である、秋田県師範学校出身の作曲家が成田為三(1893 - 1945)です。北秋田市米内沢の出身で、秋田県師範学校を卒業後、1914年に上野にある東京音楽学校(現:東京藝術大学)に入学しました。代表曲の「はまべ(浜辺の歌)」は在学中に作曲した作品です。1922年ドイツへ留学し、帰国後、初等音楽教育での輪唱の普及を提唱しました。代表作には「かなりや」「お山の大将」「雨」があります。



秋田県師範学校在学時の成田為三(前列中央)
※資料提供:浜辺の歌音楽館

南木佳士

現在医師として長野県佐久総合病院での勤務をこなしながら、作家としても活躍中の南木佳士(本名:霜田哲夫 1951年生)は秋田大学医学部第2期生です。大学時代の様子や心の有り様は、「医学生」に詳しく述べられています。「ダイヤモンドダスト」では第100回の芥川賞を受賞しています。山村と都市、そこに生きる人々が日常的に抱える現代社会の問題を医師の立場と普通の生活者としての両視点から描いた作品を多く執筆しています。



南木佳士の展示コーナー

笠原幸生の彫刻

教育文化学部教授の笠原幸生(カサハラサキオ 1951年~)が1995年に作成した作品で「日昇の軌跡」という彫刻です。太陽は、約50度の角度で東の空から昇ります。彫刻の真ん中の切れ込みは太陽の足跡かもしれません。春分の日と秋分の日、陽の光の軌跡がピタリとこの切れ込みと一致するように設計されています。幅40cm、高さ50cmの作品ですが、この彫刻を通して地球と太陽の関係や、宇宙に思いを馳せることができます。



秋田大学3D化プロジェクト



ものづくり創造工学センター学生自主プロジェクトとして、工学資源学研究所の大学院生が中心となり、手形キャンパスを立体CGで表し、道案内や学部・学科・大学行事の紹介を行う3Dマップシステムを開発しました。ゲーム感覚でコントローラーを操作して、バーチャル手形キャンパスを自由に散策できます。



皇室ゆかりの高野槇と木道

正門を入ってすぐ左側にたくさんの針葉樹とその中を通る木道が見られます。その一角に、高野槇(コウヤマキ)というマツ目コウヤマキ科の植物があります。この木は、1912年6月24日閑院宮載仁親王並びに同妃殿下が当時の秋田県師範学校に來校された際に



皇室ゆかりの高野槇



木道

記念に植えられたものです。妃殿下が直接植樹したものは1965年頃枯死してしまいましたが、他の樹木は今も現役です。皇室と高野槇は関係があり、秋篠宮悠仁親王のお印が高野槇です。

鉱業博物館

100年の歴史をもつ博物館

鉱業博物館の歴史は、国際資源学部・理工学部の前身である秋田鉱山専門学校が創立された1910年に、建物の一室に鉱山や地質関係の標本を展示する列品室が設立されたことから始まりました。そのうち火災によって列品室が被害を受けたものの復興・再開し、現在は場所を移して、「鉱業博物館」として市民に開かれています。



鉱山専門学校列品室(大正3年3月アルバムより)

現在の建物

鉱業博物館の建物は、1961年の鉱山学部創立50周年記念会事業によって建設されました。着工時には、卒業生を中心に鉱工業界・地元自治体・篤志家などの協力を受けたほか、職員や在学生が作業に参加しました。円形の建物の中に入ると、吹き抜ける中央ホールや2つのらせん階段、受付の壁にある鉱物を模したタイルに建設当時の思いが込められています。



黒鉱

鉱業博物館の1階展示室には、秋田県小坂鉱山で採取された約1.4トンの黒鉱が展示されています。かつて日本国内の鉱業が盛んだったころ、秋田県は国内有数の鉱業生産県で、黒鉱は秋田県を代表する鉱石でした。主成分は重鉛・鉛・銅などで、ほかに金・銀・ガリウム・ゲルマニウムなども含んでいます。現在では採掘されていないため、当館所蔵の標本は貴重な資料です。



特別高電圧実験室

鉄フェンスで厳重に囲われているこの装置は1974年製の試験用変圧器です。様々な用途がありますが、主に電線を支持し絶縁する器具である碍子(ガイシ)の研究のため、碍子に高電圧をかける際に使用されます。



フラッシュオーバー現象

小花冬吉先生の胸像



理工学部1号館の中庭に国際資源学部・理工学部の前身である秋田鉱山専門学校初代校長を務めた小花冬吉(1910年から1914年まで在任)の胸像があります。この胸像は、教え子や卒業生の手により1930年5月に建立されました。戦時中に供出されましたが1950年10月に再建されました。

台湾北光会寄贈「蛇紋石」

理工学部1号館の中庭にひときわ大きな石があります。これは「蛇紋石」という変成岩の一種で、1981年10月に、国際資源学部・理工学部同窓会「北光会」の台湾支部が、鉱山学部の70周年を記念して寄贈したものです。石の表面には「地下資源が盛んに興り埋蔵される」という意味の「宝蔵興焉」という文字が刻まれています。



山口青邨の句碑(左)と台湾北光会寄贈「蛇紋石」(右)

山口青邨の句碑

理工学部1号館には中庭の蛇紋石と並んで鉱山学部創立75周年記念の句碑があります。ここに刻まれている「乱菊や わが学問の しづかなる」は大正・昭和の俳人であり、工学博士、鉱山学者であった山口青邨(1892 - 1988 本名:吉郎)が書いた句です。当時秋田大学が全国で唯一鉱山学部を有していたことから、鉱山学部創立75周年記念に1986年10月、句碑が建立されました。

天体観測ドーム

教育文化学部3号館の屋上を見ると、銀色に輝くドームを見ることができます。これは地学研究室の天体観測室で、2009年に解像度・結像性能ともに極めて優れた、東北では最大級の反射望遠鏡「ミルエル」が導入されました。一般の方を対象とした天体観測会も開催していて、教育機関や地域の皆さまからの希望に応じた施設利用も可能です。お気軽にお問い合わせください。(教育文化学部地学研究室:TEL.018-889-2655)



中央図書館 内藤湖南の扁額

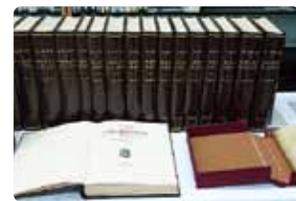


内藤湖南
※資料提供:鹿角市先人顕彰館

中央図書館の2Fギャラリーには、大きな扁額が飾られています。そこには「學貴日新」という文字が書かれており「学問を深めるには新たな真理に向かう厳しい姿勢を日々堅持することが大切である」という意味です。この言葉を贈った内藤湖南(ナイトウコナン 1866 - 1934)は、秋田師範学校(現:秋田大学教育文化学部)を卒業した、戦前を代表する東洋史学者です。ギャラリーの書架には内藤湖南の関係資料も収められており、自由に閲覧できます。



中央図書館 ガリレオコレクション



中央図書館は「近代科学の父」と呼ばれるイタリアの天文学者・物理学者ガリレオ・ガリレイ(1564 - 1642)の著作物など、歴史的重要な資料を所蔵しています。これは、秋田市在住のガリレオ・ガリレイの資料を収集している加賀谷長之氏が寄贈したもので、1632年刊行の「天文対話」と1638年刊行の「新科学対話」の原書の初版本を含んだ全55点です。

教育文化学部3号館の壁画と60周年記念ホール



教育文化学部3号館(60周年記念ホール)の壁画は、1971年に教育文化学部3号館が新しく建てられる際に作られたものです。当時の教育学部長の藤嶋主殿の発案で、美術科の教授であった阿部米蔵がデザインし、完成しました。色彩の保存に優れたタイル張りで作られており、タイトルも同様に壁画左下に「雨露と土」と入れられています。

旭水会100周年記念モニュメント



教育文化学部2号館脇の小さな広場で一際目を引くのが、教育文化学部の同窓会「旭水会」の100周年記念のモニュメントです。球体・三角錐・立方体が並んでおり、3つは体積が同じで、球体には旭水会のシンボルマークが刻まれ、中央の三角錐には中央図書館にある内藤湖南の扁額と同じ「學貴日新」という文字が刻まれています。

秋田蒨

蒨には日光を求めて丈を高く、葉を大きくする習性があり、日陰になりがちな国際資源学教育研究センターの建物周辺でも大きく育つ蒨を見ることができます。



国際資源学教育研究センター裏手の秋田蒨

キャンパスガイドマップ

手形キャンパスの名所、史跡、季節の花々etc...。仲間とワイワイ、ひとりでじっくり、それぞれに新たな魅力を発見します。キャンパス内の樹木には、紹介プレートが設置されています。あなたのお気に入りの1本を探してみてください。いかがでしょうか？

秘密の言葉ラリー

キャンパス内5カ所文字の書かれたプレートがあります。マップを見ながらプレート探しに出かけ、秘密の言葉を完成させよう！

- 小花冬吉胸像
- 60周年記念
- ゆかりのリンゴ
- 附属鉱業博物館
- アキノ山荘

マップ上の人を探してね！

34 附属鉱業博物館

●開館時間(9:00~16:00) ●休館日(年末年始(12月26日~翌年1月5日)) ●館内案内(サイエンスボランティアによる館内案内を行っています(要予約・無料)) ●問合せ先(TEL:018-889-2461、E-mail:w3admin@mus.akita-u.ac.jp)
秋田大学の鉱業博物館では、鉱業をテーマにしたユニークな展示をしています。ここでは様々な色と形の鉱物・鉱石、珍しい岩石や化石、鉱山設備に関連した機械や精密に再現された模型など選りすぐられた約3,300点の資料が展示され、それぞれの分野を系統的に学ぶことができます。また、鉱物・鉱石の展示は、分類展示では国内最大の規模を誇ります。



鉱業博物館



2 インフォメーションセンター

(平日10:30~17:00 / 土日祝休館)



秋田大学の教育・研究の取組を紹介するこのセンターでは、サークル活動、学生の研究成果の発表、演奏会、県内の地域文化の展示など、学生・教職員の積極的な活動で地域の皆様との交流を深めています。同センターには2010年に秋田の伝統的工芸品である樽岡焼の壺(かめ)が寄贈されました。寄贈者の薫元5代目小松哲郎氏は本学の留学生に陶芸指導するなど本学との交流が深く、寄贈の壺は小松氏が本学のために新たに製作した美しい一品です。

小松哲郎氏の樽岡焼の壺

43 百周年記念館

2011年に工学資源学部創立100周年を迎えた記念事業として、秋田鉱山専門学校本館の外観を再現した「百周年記念館」が設立されました。鉄骨2階建てのバルコニーが美しい外観が特徴で、夜にはライトアップしています。この施設は、ベンチャーインキュベーションセンター設備事業の一環として、産学官連携のもと産業の活性化及び人材育成を目的とした拠点施設になります。



5 中央図書館

●開館時間(平日8:30~22:00 / 土日祝12:00~18:00) ●長期休業期間(平日8:30~17:00 / 土日祝・休館)

2011年春、中央図書館は最新の図書館機能を備えた「学びの場」にリニューアルオープンしました。1階はPCや無線LAN、各種資料が利用できるリサーチフロア。問題解決型の学習を支援する「コモンズ」が整備され、グループ学習や利用者のくつろぎの場となるラウンジも設けられました。2階の開架フロアには10万冊の図書が並び、全蔵書は40万冊以上に上ります。一般の皆さまも閲覧・貸出が御利用いただけます。また、2階のギャラリーからは、学生支援棟2階に繋がる渡り廊下が新しく整備され、利用者の語学研修室・学習フリースペースへの移動が便利になりました。



9 大学会館(クレール)食堂

(平日8:00~19:30 / 土曜11:30~13:30 / 日祝休業)

お昼時には多くの学生と教職員が集い、賑わう大学会館食堂。2011年の改装で200席が追加され、900席と広く使いやすくなりました。カフェテリア形式で料理をお好みでお選びいただける他、麺・丼・カレーコーナー、季節に合わせた企画・フェアも充実し、学生・教職員の食生活を豊かにしています。



- 〈凡例〉
- 国際資源学部
 - 教育文化学部
 - 理工学部
 - 共通施設
 - Viewポイント
 - 駐車場
 - 駐輪場
 - 食堂・喫茶室・売店
 - AED(自動体外式除細動器)
 - トイレ
 - 公衆電話

- 1 本部管理棟(教員免許更新講習推進センター、評価センター、地域創生センター)
- 2 インフォメーションセンター
- 3 学生支援棟(学生支援総合センター、教育推進総合センター)
- 4 総合情報処理センター
- 5 中央図書館
- 6 ベンチャーインキュベーションセンター
- 7 一般教育棟1号館(国際交流センター)
- 8 一般教育棟2号館

- 9 大学会館(クレール)
- 10 保健管理センター
- 11 教育文化学部1号館(管理棟)
- 12 教育文化学部2号館(音楽棟)
- 13 教育文化学部3号館
- 14 教育文化学部4号館
- 15 教育文化学部5号館
- 16 附属教育実践研究支援センター
- 17 理工学部1号館(管理棟)
- 18 理工学部1号館(電気電子工学コース)

- 19 理工学部1号館(電気電子工学コース・土木環境工学コース)
- 20 国際資源学部(創造生産工学コース)
- 21 理工学部2号館(機械工学コース)
- 22 理工学部3号館(材料工学コース)
- 23 理工学部4号館(応用化学コース・生命化学コース)
- 24 理工学部5号館(数理学コース・人間情報工学コース)
- 25 総合研究棟
- 26 ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー、放送大学秋田学習センター
- 27 特別高圧実験室
- 28 機械実験室

- 29 機械工場(附属ものづくり創造工学センター)
- 30 理工学研究センター
- 31 材料工学コース実習工場
- 32 国際資源学教育研究センター
- 33 放射性同位元素センター
- 34 附属鉱業博物館
- 35 附属地域防災力研究センター
- 36 大体育館
- 37 小体育館
- 38 サークル棟

- 39 教育文化学部池・散策緑地
- 40 東屋
- 41 陸上競技場
- 42 野球場
- 43 百周年記念館
- 44 産学連携推進機構